

## 第3回化学物質国際対応ネットワークセミナーの開催について

### －REACH 規則対応に関する国際動向と予備登録後の課題－

欧州の REACH 規則については、2008 年 6 月 1 日から予備登録が開始され、国内外企業における対応が本格的に動きはじめました。また、予備登録後に予定されている手続きについても、準備が進められている状況にあります。

今回のセミナーでは、REACH 規則に関して最近開催された国際会議で得られた国内外の動向に関する情報を紹介するとともに、予備登録後に必要となる手続きについて確認することをねらいとします。前者については、日中韓化学物質政策ダイアログ等において得られた情報を基にした非欧州地域（中国、韓国、インド等）における対応状況とともに、ECHA 主催の First Stakeholders' Day の模様や欧州 ECHA の取組、欧州企業の対応状況を紹介します。また、併せて欧州の NGO 等が中心となって形成した REACH 規則に基づく高懸念物質の代替を推進することを目的としたプラットフォームの活動等を紹介します。後者については、予備登録後に必要となる手続きについて、その内容や想定される課題を解説します。

ご関心のある方の参加を広くお待ちしております。

- 1 日時 2008 年 10 月 27 日（月） 14 時 00 分 ～ 17 時 00 分
- 2 申込期間 2008 年 10 月 1 日（木）～ 10 月 14 日（火）
- 3 会場：三田共用会議所（TEL 03-3455-7591）
- 4 所在地：〒108-0073 東京都港区三田 2-1-8
- 5 アクセス：営団地下鉄 南北線 麻布十番駅下車 徒歩 5 分  
都営地下鉄 大江戸線 麻布十番駅下車 徒歩 7 分（2 番出口）  
JR 田町駅下車 徒歩 20 分  
都営地下鉄 三田線 三田駅下車 タクシー 7 分  
都営地下鉄 浅草線 三田駅下車



6 定員 250名

7 参加費 無料

8 セミナーへの参加申込

10月1日(水)から10月14日(火)まで、参加申込を受け付けます。

参加ご希望の方は、10月14日(火)15:00(必着)までに、(1)氏名、(2)所属、(3)メールアドレス、(4)電話/FAX番号を明記の上、[chemical-net@oecc.or.jp](mailto:chemical-net@oecc.or.jp)まで電子メールにて登録してください。その際、件名は「【参加希望(一般)】第3回化学物質国際対応ネットワークセミナー」としてください。登録は、希望者1名につき1通とさせていただきます。なお、セミナー参加者は、化学物質国際対応ネットワークの参加団体を優先させていただき、一般からの希望者が多数の場合は抽選とさせていただきます。参加登録が確定した方には、事務局からメールにて、件名が「【参加票】第3回化学物質国際対応ネットワークセミナー」の通知を10月17日(金)12:00までに差し上げます。【参加票】の通知が届かなかった方の参加は、基本的には認められませんので、あらかじめ御了承賜りますようお願い申し上げます。

9 お問い合わせ先 化学物質国際対応ネットワーク事務局 西宮、市毛、堀内まで

TEL : 03-5472-0144

FAX : 03-5472-0145

Email : [chemical-net@oecc.or.jp](mailto:chemical-net@oecc.or.jp)

## REACH 規則対応に関する国際動向と予備登録後の課題セミナー

### プログラム

受付 (13:30-14:00)

開会 (14:00-14:10)

セッション1 環境省環境保健部化学物質審査室長 戸田英作 (14:10-14:50)

#### 「非 EU 地域の REACH 対応状況(中国、韓国、インドなど)」

2008 年 9 月にソウルで開催された日中韓化学物質政策ダイアログの結果や、「EU・インド環境フォーラム」等で得られた情報、ヘルシンキの中国オフィスやブリュッセルの韓国オフィスへの現地調査の情報などをもとに、非 EU 地域の企業による REACH 予備登録、高懸念物質対応の現状と課題について概観します。

セッション2 化学物質国際対応ネットワーク事務局 西宮康二(14:50-15:30)

#### 「EU 地域の REACH 対応状況(1)／ECHA's First Stakeholders' Day から」

2008 年 10 月 10 日に開催される ECHA 主催の First Stakeholders' Day の模様を紹介し、参加者と当局との意見交換内容を通して、REACH 予備登録や高懸念物質の指定等の状況や課題を報告します。また、上記会合に合わせて行った、EU 地域での現地ヒアリング調査で得られた結果を基に、関係機関の REACH 対応業務を紹介することによって、欧州域内における関係者の活動をリアルタイムで報告します。

休憩 (15:30-15:45)

セッション3 有害化学物質削減ネットワーク代表 中地 重晴(15:45-16:25)

#### 「EU 地域の REACH 対応状況(2)／欧州 NGO の SVHC 候補物質選定に関する動向」

ECHA が本年6月に公表した 16 の高懸念物質(SVHC)候補物質の提案文書に対し、EU 域内で活動している NGO によって、市民にとって安全性評価を急ぐべき化学物質として独自にまとめられた 267 物質の「SIN(Substitute It Now!)リスト」について、2008 年 9 月 17 日に NGO の ChemSec 主催で開催された代替物質会合(Substitution Conference)の模様を交えて紹介し、これに対応するために国際的な NGO を中心に構成されるプラットフォームによる連携状況や今後の活動の方向性を紹介します。

セッション4 財団法人化学物質評価研究機構 川原和三(16:25-17:05)

#### 「REACH 規則に基づく予備登録後の手続と課題」

REACH 規則に関係するコンサルタント業務、試験実施業務、欧州域内の OR を通じた唯一の代理人業務などの経験を基に、予備登録後の手続を確認しつつ、特に技術的な対応として課題となることが想定される内容(サプライチェーンにおける情報共有、CRS・SDS の作成など)を中心に対応策等について解説します。

閉会 (17:05-17:10)

\* 各講演には質疑応答が含まれます。

\* プログラムの内容及び講演者は予告なく変更になることがあります。御了承ください。